

## なんぶ創生 2.0 戦略に対するパブリックコメントの概要

### 1 パブリックコメントの募集等

- (1) 募集期間：令和 8 年 2 月 24 日（火）～3 月 13 日（金）
- (2) 周知方法：なんぶ創生 2.0 戦略（案）を HP で公開するとともに、法勝寺庁舎・天萬庁舎・複合施設キナルなんぶの 3 か所で閲覧に供した。
- (3) 意見の件数：2 件

### 2 意見の内容

意見の内容	提案・意見の要旨	対応
(1) 全体について	記載内容が全町的な課題を総花的で財政面の視点が欠けている。 限られた期限・資源を有効活用する優先順位付けが行われていない。	本戦略は、人口減少下における地域活力の維持・創造という重要課題に対し、全庁的な観点から幅広い分野にわたる取組を整理したものです。ご指摘の優先順位の考え方については、重要な視点であると認識しており、改訂前の総合戦略では 52 項目をあげていましたが今回は 40 項目としました。一方、財政面については高齢化による社会保障費の増加や物価高騰など、予見困難な要因が多いとともに中長期的な財政計画等と整合を図りながら進めていく必要があります。ご指摘を踏まえ、人口動態を見据えた持続可能な財政運営について、関係計画との連携を図りつつ、適切な目標設定のあり方について検討してまいります。
(2) これまでの取組みの検証について	100 人委員会からの提案を受け KPI を設定し取組んできた施策の検証はどうなっているか。	これまでも総合戦略に基づく施策については、役場内において毎年度進捗管理および効果検証を実施してまいりました。本戦略の策定にあたっては、これらの検証結果を踏まえ、成果が見られた施策については継続・強化し、効果が限定的であった施策については見直しを行っております。今後も定期的な検証と改善を繰り返し、戦略の実効性向上に努めてまいります。
(3) 福祉×防災による地方創生について	南部町福祉推進計画と防災をさらに連携させ、住民の安全安心に取組む町として PR してはいかがか。	ご提案の「福祉と防災を組み合わせた取組」は、地域の安全・安心の向上と定住環境の充実に資する重要な視点であると認識しております。本町においても、高齢化の進展や災害対応力の強化が求められていることから、地域福祉と防災の連携を図り、誰もが安心して暮らし続けられる地域づくりの推進に努めてまいります。

<p>(4) 基本目標、施策及び重点取組みの因果関係について</p>	<p>以下の箇所について事業内容と基本目標の成果指標の因果関係が明確でない。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○基本目標 1 施策 1 重点取組 1</li> <li>○基本目標 1 施策 2 重点取組 2</li> <li>○基本目標 2 施策 4</li> <li>○基本目標 2 施策 5</li> </ul>	<p>本戦略の策定にあたっては、基本目標に対する成果指標及び重点取組に対する KPI、これらの関係性について、「挑戦・シナジー・循環」の3つの視点をもって産官学勤労言の各分野代表の策定委員の皆様と十分な議論を交わしながら設定を行いました。「挑戦」の視点からは、個別の重点取組に対する挑戦的な目標 (KPI) 達成を目指し、「シナジー」の視点では、多様な主体や複数の重点取組による相乗効果によって、成果指標達成を加速します。また、「循環」の視点では、施策の効果が好循環を生むことで、本戦略が掲げる数値目標達成を目指しています。</p>
<p>(5) 多面活動組織に係る KPI について</p>	<p>多面活動組織は実働する組織からも実務者不足の声が上がっており、国も広域化を推進している。活動組織数の増加を目標とすることは不適切。</p>	<p>南部町の水田農業は、北部の平場と南部の山間部とで生産基盤を含め生産状況が異なっており、生産環境が不利な山間部等では一段と厳しい状況にあります。多面的機能支払制度は、農業用施設（水路、農道）の共同で行う維持活動等を交付対象としている制度でありますので、人口減少により農業維持が困難な山間部等で事業効果がより発揮できるのではないかと認識しております。町としましては、活動組織の広域化も図りながら、山間部等の農地の多面的活動を担って頂ける組織化を目指してまいります。</p>
<p>(6) 委員構成について</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○農業分野の知見を有する者がいない。</li> <li>○地域振興協議会に加入していない自治会等があることから地域振興協議会連絡会会長は地域住民の代表として十全でない。</li> </ul>	<p>委員構成に関するご意見については、多様な視点の確保という観点から重要であると認識しており、今後の検討にあたっての参考とさせていただきます。</p>